

1. 自社紹介(DXに取り組む背景含めて)

自社の紹介

- ・企業名 琉球朝日放送株式会社
- ・従業員数 正規従業員48名(2023年度)
- ・売上 41億円(2023年度)
- ・設立年数 1994年
- ・事業概要 テレビジョン放送その他の基幹放送事業
主な番組：CATCHY1部・2部

DXのきっかけ(背景、取組前の課題等)

- ・慢性的な人材不足、特にアナウンサーなどの専門性を有する人材の不足。
- ・テレビスポット不況による収益減
- ・放送局としての災害発生時における情報発信の必要性

めざす効果

<働き方改革>

- ・デジタル技術を活用し専門的な技能が求められるアナウンサーや技術スタッフの働き方改革

<新たなビジネスモデル>

- ・コンテンツ増加による新たなスポンサーの獲得
- ・多言語コンテンツを活用したインバウンド事業貢献を視野に入れて収益の拡大

AIアナウンサー紹介(ニュース映像)



[\(19\) 交通安全をPR！宮古島まもる君を清掃 - YouTube](#)

日本語によるニュース映像



[Cleaning up Miyakojima's "Mamoru-kun"](#)

英語によるニュース映像

2. 本補助事業で実施した取組

取組内容

AIアナウンサー技術と自動翻訳技術を活用したコンテンツ制作

動画作成イメージ

①ニュース原稿を用いて、AI Studio(WEB)にて動画を作成。



取組内容

AIアナウンサー技術と自動翻訳技術を活用



<ニュースコンテンツの増加>

AIアナウンサーを活用しこれまで実現できていなかった深夜帯、早朝帯でニュース枠を設ける

<コンテンツの多言語化>

日本語コンテンツと同時に多言語コンテンツを作成。今年度は「日本語」「英語」「韓国語」「中国語」のコンテンツを作成



<コンテンツ展開>

地上波放送(2か国語(日本語/英語))
web配信(日本語・英語・韓国語・中国語)

3. 事業成果(見込まれる効果、分かった事、出てきた課題等)

見込まれる効果

＜ワークフローシステム化促進＞
AIアナウンサーの導入により、アナウンサーの拘束時間ゼロ、他担当者も通常業務内で多言語コンテンツを作成する事を実現した。

＜拘束時間削減効果＞

	25 時 台 O.A	23 時 台O.A	拘束 時間 /週
アナウンサー	8h	6h	14h
ニュースデスク	8h	6h	14h
編集担当者	7h	5h	12h
副調整室(放送サブ)担当者	8h	6h	14h
配信担当者	9h	7h	16h
拘束時間総計			70h

※週2回放送(月25時台O.A、水23時台O.A)で計算

DXに取り組んで分かった事

【ワークフローシステム化(デジタル化)】が単純に【省力化】に繋がらない



DX化促進には多角的なアプローチが必要

その他(出てきた課題や苦労した点等)

<ワークフローの構築>

ニュース放送・配信には多数の部署・人員が関わるが、運用負荷についてはゼロサムの要素が強く負荷平準化の検討・調整に時間を要した。

4. 今後の展開

今後の取り組み

<DX化促進>

人の手を介して行っている素材搬入の自動化、デジタル化を進め、さらなる働き方改革の促進



次年度は搬入素材のオンライン化を目指す

<多言語コンテンツによるビジネス拡大>



他業種との連携(コンビニエンスストア、ホテルetc)

<災害時の情報発信>

多言語での情報発信による「誰も取り残さない社会」の実現

